

**国際交流基金アジアセンター主催**  
**...and Action! Asia#05ー映画・映像専攻学生交流プログラムー**  
**応募要項**

国際交流基金アジアセンターは、日本を含むアジアの映画・映像分野を学ぶ学生による活発な対話や交流のプラットフォームを構築し、将来的な国際協働の可能性を導き出すことを目的とした「...and Action! Asiaー映画・映像専攻学生交流プログラムー」を実施しています。5年目となる本年は、ジャカルタ芸術大学との共催のもと、約2週間のプログラムにて、多国籍のグループワークによる短編映画の共同制作と上映を中心に、ディスカッションや映画関係者によるレクチャーを実施。日本と東南アジアの映画・映像制作を学ぶ学生と教員を対象に、企画公募にて本プログラムの参加者を募集いたします。

## I. プログラム概要

### 1. 趣旨

日本や東南アジアを含め世界ではデジタルでの映画・映像制作が主流となり、比較的容易になったことで、映像制作の裾野が広がっています。これに伴い、海外映画祭への出品や国際共同企画への取り組みなど他国を自ら意識して学ぶ者も増え、国際協働の可能性も広がりを見せています。このような状況を背景に、本事業は、次世代を担う映画・映像を学ぶ学生による協働を通して、国際的な感覚を培う機会を提供し、映像分野における将来的な国際協働に繋がる交流の促進に寄与することを目指します。

### 2. 実施機関

主催：国際交流基金アジアセンター

共催：ジャカルタ芸術大学 (Jakarta Institute of the Arts)

後援：全国映画教育協議会

### 3. 日程

平成 31 (2019) 年 3 月 1 日 (金) ～3 月 14 日 (木)

※日程が前後する可能性があります。日程詳細は参加決定者にのみご案内いたします。

※プログラム実施の1～2か月前より、オンライン上での映画制作ディスカッションなど、事前準備を開始いたします。

### 4. 場所

ジャカルタ芸術大学他 (インドネシア)

## 5. プログラム内容

### (1) 短編ドキュメンタリーの共同制作および上映・プレゼンテーション

共通の主題と制作条件のもと、書類審査により映像化する企画（3本）と制作チームを選出・決定します。プログラム開始前に、脚本推敲・事前準備を行い、プログラムでの協働を通して短編ドキュメンタリーを完成。最後に、完成作品を一般上映し、映画関係者による講評を行います。（作品は後日、国際交流基金の公式ホームページで公開予定）

#### 【制作条件】

##### ・基本テーマ：“Survival”

（例）“Survival of student life” “Survival of urban life” “Survival of family life” “Survival in different culture”, etc.

##### ・ジャンル：ドキュメンタリー

##### ・尺：10分以内の短編作品であること。

##### ・制作予算：3万円以内（税込）

※上記予算に含まれるもの：撮影に係る施設入場料、取材費、出演謝金、小道具費

##### ・機材：

撮影・編集に使用する基本機材は主催者が提供いたします。但し、オンライン編集可能なパソコンを有する方で、使用を希望する方は各自ご持参ください。

また、ポスターや資料作成等に使用するパソコンは各自ご持参ください。

##### ・チームと役割：

エントリーシートにて提出された希望役割を考慮し、事前に主催者が学生・教員の制作チームを構成いたします。制作チームは4班、各班5、6名の学生、インドネシア及び日本又は東南アジアの教員各1名ずつ（計7、8名）で構成されます。

### (2) 映画関係者による講義・ディスカッション

現地の映画関係者を講師に迎え、制作技術や映画分析などに関するレクチャーやディスカッションを行います。

### (3) 映画関連施設等の見学

プログラム期間中、現地の映画制作に関連する施設に訪問し、映画関係者との交流を育む機会を提供します。

### (4) 教員間ラウンドテーブル（非公開）

各校の映画教育やシラバスの共有等、参加校間の意見交換の場とします。

## 6. 参加人数

ア. 映画・映像制作を専攻する学生（大学・専門学校以上）：計 21 名

（内訳）日本：4名、インドネシア：8名、

インドネシア以外の東南アジア：9名（3名×3校）

イ. 大学・専門学校相当の機関にて映画制作を教える引率教員：計 8 名

（内訳）日本：1名、インドネシア：4名、

インドネシア以外の東南アジア：3名（1名×3校）

## 7. 使用言語

全プログラムを通して、使用言語は**英語**となります。ご了承ください。

## 8. 参加費

参加費は無料です。国際航空券、現地での宿泊費、食費、海外旅行保険料など、プログラム実施に係る費用は主催者が負担いたします。但し、私的な買い物や本プログラムに無関係な費用等については自己負担となります。

## II. 応募要項

### 1. 募集人数

ア. 映画・映像制作を専攻する学生（大学・専門学校以上）：計 13 名

（内訳）日本：4名、インドネシア以外の東南アジア：9名（3名×3校）

イ. 大学・専門学校相当の機関にて映画制作を教える引率教員：計 4 名

（内訳）日本：1名、インドネシア以外の東南アジア：3名（1名×3校）

### 2. 参加資格

**学校機関単位**で、以下の条件を満たす者の応募とします。

#### (1) 参加校について

運営組織としての実体を有し、1年以上の映像・映画制作コースを有する大学、専門学校相当の教育機関で、国際共同製作や文化交流など、国際的な人材の育成に高い関心をもっていること。

#### (2) 参加学生について

- ・大学、専門学校相当の機関に在籍し、映画・映像制作を専攻していること
- ・英語での全プログラム参加が可能であること
- ・映像編集ソフトの操作が可能であること
- ・自身が制作に参加した映像作品を有すること
- ・プログラムの全日程に参加可能であること

- ・本プログラムの趣旨に賛同し、他参加者との交流・協働に意欲的であること
- ・心身健康であること

### (3) 引率教員について

- ・大学、専門学校相当の機関にて映画制作を教えていること（技術的な助言が可能であること）
- ・英語での全プログラム参加が可能であること
- ・学校間の継続的な取り組みについて協議が可能であること
- ・本プログラムの趣旨に賛同し、他参加者との交流・協働に意欲的であること
- ・心身健康であること

## 3. 応募方法

### (1) 応募書類

学校の代表者の方が以下の提出書類 2 点一式をご提出ください。提出書類は、指定箇所以外は全て英語でのご記入をお願いいたします。

- ・様式A：エントリーシート (Entry Application Form)  
※指導教員による推薦と署名をご記入ください。
- ・様式B：映画企画書 (Film Plot Form)

提出書類一式は、下記 URL よりダウンロードいただけます。

<https://jfac.jp/culture/news/n-and-action-asia05-entries/>

### (2) 応募締切

平成 30 (2018) 年 11 月 14 日 (水) 18:00 厳守

### (3) 選考結果の通知

選考結果は、12 月中旬、代表者連絡先宛に E メールにて通知いたします。ご提出いただきました書類は、原則として返却いたしませんので、ご了承ください。

## 4. 応募先・問い合わせ先

応募書類は、郵送または E メールにて下記までお送りください。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-16-3

国際交流基金アジアセンター 文化事業第 1 チーム

担当：掛谷（かけや）、滝本（たきもと）

電話：03-5369-6140 FAX：03-5369-6141 E-mail：jfac\_film@jpf.go.jp

以上